



総務省

「高速無線LAN等搭載機器の開発推進に向けた 欧米基準の無線試験レポートの活用促進」

取組状況

令和4年4月

総務省

総合通信基盤局電波部

取組状況

- 総務省では、令和3年12月に取りまとめられた「当面の規制改革の実施事項」を受けて、我が国の登録証明機関における無線LAN等の欧米基準試験データの活用の在り方を具体的に検討することを目的として、「無線LAN等の欧米基準試験データの活用の在り方に関する検討会」を設置。
- 令和4年3月に第1回会合を開催。

II それぞれの柱における規制改革の推進

<12/22 規制改革推進会議決定>

2. スタートアップ・イノベーション

- キ 高速無線LAN等搭載機器の開発推進に向けた欧米基準の無線試験レポートの活用促進

【令和3年度検討開始、令和4年度中に結論得次第速やかに措置】

総務省は、高速無線LAN等の普及を通じて Society 5.0 を実現する観点から、我が国の登録証明機関において欧米基準の無線試験レポートの活用を促進する環境整備を行う。具体的には、事業者の負担軽減に資する方策を検討することを目的として、構成員のバランスを考慮した上で、国内外の事業者や無線工学の専門家等が参画する検討会を設置する。同検討会においては、欧米基準の無線試験レポートと日本の試験項目の内容を比較することで、活用可能な項目を精査し、差分項目のみ試験を行うことを含め、利用者目線から議論や調査等を重ね、結論を得る。

無線LAN等の欧米基準試験データの活用の在り方に関する検討会

- 本検討会は、有識者及びメーカーが構成員として参画。
- 日欧米における無線LAN及びBluetoothの認証に必要な技術的条件、試験項目、測定法等の比較検討を行うとともに、欧米基準の無線試験データ活用等による日本の試験項目や測定法の見直しの方向性等を検討する予定。

構成員

(敬称略、五十音順)

	氏名	所属・役職	専門等
有識者	梅比良 正弘	南山大学 理工学部 教授	工学
"	関口 博正	神奈川大学 経営学部 教授	経営
座長	高田 潤一	東京工業大学 副学長(国際連携担当)環境・社会理工学院 教授	工学
"	永井 徳人	光和総合法律事務所 弁護士	法律
"	林 秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科 教授	法律
座長代理	前原 文明	早稲田大学 理工学術院 教授	工学
メーカー	赤澤 逸人	パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 品質・環境本部 製品法規課 技術法規ユニット 主幹	デジカメ、PC、家電
"	新井 信正	シャープ株式会社 通信事業本部 パーソナル通信事業部 回路開発部(無線回路) 課長	スマホ、PC、家電 準外資系
"	城田 雅一	クアルコムジャパン合同会社 標準化本部長	無線LAN、BTチップ 外資系
"	醍醐 謙二	株式会社リコー リコーフューチャーズBU SmartVision事業センター 第一開発室 開発3グループ スペシャリスト	デジカメ
"	高橋 英明	アンリツ株式会社 通信計測カンパニー グローバルセールスセンター 通信計測営業本部 第1営業推進部 第2チーム 課長	計測機器
"	成瀬 廣高	株式会社バッファロー ネットワーク開発部 ODM第一開発課 課長	無線LAN

※オブザーバーとして規制改革推進室も参加

検討スケジュール(想定)

- 令和4年度中に一定の結論を得ることを想定。
- 検討のベースとなる日欧米比較調査の内容や検討の方向性の確定に向け、年度前半は月1～2回を目途に集中的に開催する想定。

開催スケジュール

第1回 開催趣旨説明、討議(3月18日)

- ・開催趣旨・要綱(事務局)
- ・提案者(リコー)からの発表
- ・無線LAN等に関する制度と現状(事務局)
- ・メーカー発表(クアルコム、パナソニック)
- ・自由討議

第2回 検討の方向性の整理(4月中旬目途)

- ・前回討議を踏まえた検討の方向性の議論(論点整理)
- ・日欧米比較調査の進め方

第3回 比較調査報告①(4月下旬～5月中旬目途)

- ・比較調査報告①
- ・追加調査に向けた議論

第4回 登録証明機関ヒアリング(5月下旬目途)

- ・比較調査を踏まえた登録証明機関ヒアリング

第5回 比較調査報告②(6月目途)

- ・比較調査報告②
- ・今後の検討の進め方

以降、月1回を目途に開催し、令和4年度中に取りまとめを実施。